

## 市内193～197例目

### (県内311～313、315～316例目)の概要

令和3年4月22日公表

4月21日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、新たに5名の方、市内193～197例目(県内311～313、315～316例目)となる感染者が確認されました。

年齢・性別につきましては、いずれも本人のご意向により公表を差し控えさせていただきます。

居住地及び発症日、症状につきましては、それぞれ配布資料のとおりです。

193例目の方は、192例目の接触者として、昨日21日にPCR検査を行った結果、陽性であることが判明いたしました。

発症日2日前、4月13日以降の感染可能期間に出勤されていますが、不特定多数の方への接客の機会があるような仕事ではなく、聞き取り調査により接触者は把握できています。

また、発症日2週間前、4月1日以降の期間において、県外への移動歴はありませんでした。

194例目の方は、4月19日に症状があり、20日に市内の医療機関を受診し、翌21日にPCR検査を行った結果、陽性であることが判明いたしました。

また、195例目の方は、194例目の濃厚接触者として、昨日21日にPCR検査を行った結果、陽性であることが判明したものです。

194例目及び195例目の方は、発症日2日前(194例目：17日/195例目：18日)以降の感染可能期間に、それぞれ出勤されていますが、不特定多数の方への接客の機会があるような仕事ではなく、聞き取り調査により接触者は把握できています。

また、発症日2週間前以降の期間において、日常生活の範囲で県外への移動歴はありませんでした。

196例目の方は、190例目の濃厚接触者として、昨日21日にPCR検査を行った結果、陽性であることが判明したものです。

無症状の方ですので検体採取日を発症日として捉え、2日前の4月19日以降を感染可能期間としています。

この間の勤務や不特定多数への感染の恐れがあるような行動歴はなく、聞き取り調査により接触者は把握できています。

また、発症日2週間前、4月7日以降の調査期間において、県外への移動歴はありませんでした。

197例目の方は、191例目の濃厚接触者として、昨日21日にPCR検査を行った結果、陽性であることが判明したものです。

発症日2日前、4月18日以降の感染可能期間において、勤務や不特定多数への感染の恐れがあるような行動歴はなく、聞き取り調査により接触者は把握できています。

また、発症日2週間前、4月6日以降の調査期間において、県外への移動歴はありませんでした。

現在、193例目は37度台の発熱の症状が、194例目は関節痛の症状が、195例目は38度台の発熱、咳、頭痛、悪寒の症状が、196例目及び197例目は咳の症状がそれぞれありますが、いずれも軽症とのことです。

193例目については、感染症法に基づき居所を管轄する島根県に通報し、入院等に関する対応を引き継いでいますが、松江市で感染者の発生届を受理することから、本市の感染者として計上することとなります。

いずれも保健所の指導の下に自宅で待機し、感染症対策を講じた県内の医療機関に、193例目から196例目は本日中に入院される予定であり、197例目は本日すでに入院されています。

なお、いずれの方も昨日21日に島根県保健環境科学研究所で行った変異株スクリーニング検査の結果、変異株であることが判明しています。

今後も調査結果を踏まえ、必要な検査を実施するなど、引き続き感染拡大の防止を図ってまいります。

全国では、先月の緊急事態宣言解除以降、新規感染者数が最多となるなど、感染拡大傾向が継続する中、政府は明日にも4都府県に3回目の緊急事態宣言を出す方針を示し、より強く集中的な対策の実施が検討されています。

やむを得ない用事に関わる往来を控えていただく必要はありませんが、大型連休に向けて、まん延防止等重点措置が適用される都府県との往来を控え、各自治体が住民に対し不要不急の外出自粛を要請している地域への往来については、慎重にご判断いただきますようお願い申し上げます。

変異株であっても、基本的な感染予防策は異なることはなく、これまでと同様に有効です。大切な家族や友人を守るためにも、感染防止の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」の徹底や「三密の回避」をはじめとする「感染しない、させない」ための取り組みにご協力いただきますようお願い申し上げます。

発熱や咳などの体調不良時には、まず仕事や学校を休んでいただくことが、感染拡大の防止につながる大切な行動です。

風邪様の症状でも、自己判断せず、まずはかかりつけ医に相談・受診する、積極的に検査を受けるなど、万一来に備えた対応をお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。患者やその関係者また医療関係者を励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、重ねてお願いを申し上げます。